

本校のユネスコスクール申請のE S Dの特徴と活動内容について

北海道南富良野高等学校 校長 米 野 祐 司

担当者 教諭 山 口 修 明

森 谷 雅 子

1 本校のE S Dの特徴について

本校では、「豊かな自然の中で、意欲的に学び、自他を尊重し、健やかに生きる人間を育てる」を教育目標とし、これからの地域や日本を支える社会人として必要な、思考力、判断力、行動力および異文化や他者を理解し尊重する心を育てる教育を推進している。

カリキュラムの中に、地域の教育資源を活用した環境学習やカヌー体験学習やカーリング体験学習を設け、持続可能な地域の環境について学習する。

校内体制としてユネスコスクール委員会を設置し、学校体制としてより効果的にE S Dに取り組む体制を整えてきている。

2 活動内容について

- (1) 持続可能な自然環境の存在価値や保全について考え、環境講座学習を通じて地域の環境問題について学び、科学が我々の将来に果たす役割についての知識を身につける。
- (2) 地域の教育資源であるカヌー、カーリングの体験授業を通じて、持続可能な地域自然環境保全について方法について考える。
- (3) 市民教育を推進し、生命や思いやる態度の育成のため、地域ボランティアや地域施設訪問や募金活動等を通じて、奉仕の精神や相互尊重や寛容性や生命の大切さについて学ぶ。
- (4) 英語でのコミュニケーション能力を身につけ、オーストラリアを主とした国際交流派遣事業や国際交流クッキングやイングリッシュ・キャンプを実施し、異文化理解を深め、多様な異なる文化・習慣・伝統・価値観等を理解する。

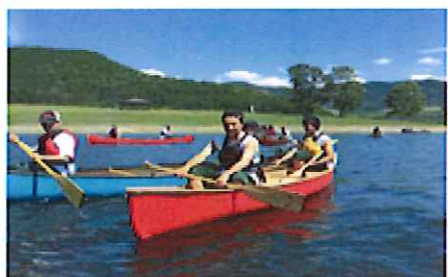
### 3 活動の様子



環境学習フィールドワーク



元オリンピック選手によるカーリング授業



カヌー授業



募金活動



English Camp



ボランティア活動（水害復興）



レッドリボン運動



デーサービスセンター訪問

### 4 今後に向けて

本校は、平成29年2月にユネスコスクールに正式登録され、今後、組織的にESDを全教職員が一丸となり推進し、地域の教育資源を活用し、地域活性化につながるESDを展開していきたい。